



『いなぶの小窓』

No.18 (H30.11.2)

多忙を言い訳にして、掲示が遅れてしまいましたが、最近の稲武交流館及び稲武地区の情報についてお知らせします。

1つ目は、「稲武地区ふれあいまつり」です。

10月14日(日)、約850人の来場者の下、ふれあいまつりが盛大に開催されました。

今年は、まつりの一体感を図るため、駐車場にステージを作り式典や芸能発表などを含めて全て屋外で行うこととしましたので、数日前から降雨を心配していましたが、雨も朝方には止み実行委員を始め出演者や出店者、消防団や中学生ボランティア、賞品協賛者、駐車場提供者など多くの協力者のお蔭で全て順調良く、加えて笑顔と和やかな雰囲気にもまれた催しとなり充実感と共にホッとした気持ちに浸ったところです。

【稲武地区ふれあいまつりの様子】



2つ目は、「山コン in いなぶ ～自然体験&ステキな出会い～」です。

10月27日（土）、富永町集会所及び周辺農地・どんぐり工房にて、「山コン in いなぶ」を開催しました。

この催しは、「稲武に在住又は後継ぎ独身男性への縁結び」と「地区外女性に繰り返し稲武を訪れてもらえるファンづくり」を目的として、6月15日に稲武地区内の主要団体を構成員とした実行委員会を立ち上げ、これまで4回の実行委員会を経て様々な協議と準備を行ってきました。

特に、困難を極めたのが独身女性の参加者確保で、チラシやSNS、口コミからマスコミまであらゆる媒体を駆使して努力してきましたが、なかなか参加者が集まらず苦慮する日々を送っていました。しかし、申込期限を過ぎた辺りから一挙に申し込みがあり、最終的に19名（当日1名欠）の女性から参加申し込みを受け、子どものようにしゃぎ回ったところです。

こうして、嬉しさを噛みしめていた反面、今度は独身男性の人数が不足する事態となり、地元消防団を始め商工会青年部や全自治区長さんにもお願いして何とか19名の男性を確保し、無事に本番を迎えられることになりました。

当日は、雨天予想により一時は芋ほり体験の中止も考えていましたが、前日夜半から降り出した雨も開会前にはピタッと止み、芋ほり体験から手打ちうどん作りまで予定どおり（時間的には、かなり延長しましたが・・・）の内容を行うことができました。

そして、最後のご縁つなぎでは、予想を上回る9組ものカップルが成立し、スタッフ一同大きな感動と達成感に包まれた瞬間でした。

みごとカップルとなった皆さんには、これからのお付き合いを通して是非とも稲武に嫁いでいただけたら・・・と心より願っているところです。

また、残念ながら不成立となった女性の皆さんには、今後も稲武に繰り返し足を運んでいただいて稲武の魅力を実感し、さらに稲武を盛り上げるためにご支援がいただければと願っています。

最後になりますが、今回の「山コン in いなぶ」に際しては、本当に多くの皆さんのご理解とご協力をいただき大きな成果を得ることができました。

心より感謝申し上げますとともに、今後ともご支援を賜りますようよろしくお願いします。

※ 今回は、参加者のプライバシー保護のため、写真の掲載はありません。